

花柳昌三郎舞踊公演

— 踊と舞 —

清元『名寄の寿』

花柳昌三郎

解説 花柳昌三郎の創作舞踊の歩み

笠井賢二

創作『砧』

— 能の謡と能管・尺八・
パーカッションによる

花柳昌三郎



平成25年6月12日(水) 午後6時30分開演

於 銚仙会能楽研究所

笠井 賢二演出
花柳昌三郎振付

清元『名寄の寿』

唄 清元梅寿太夫 連中

清元 紫葉

(録音テープ)

「名寄の寿」は歳旦浄瑠璃の代表作で、新年に一門の
弾き初めの為に作曲されたもの。

三番叟から始まり、蓬萊、禿万歳、松の内、七草、
富士と筑波の江戸桜と、目出度い名を寄せて綴った
祝言の世界である。

解説 花柳昌三郎の創作舞踊の歩み

笠井 賢二

花柳昌三郎の演出を十数年続けてきた笠井賢二が
花柳との数々の仕事の中から昌三郎の創作のこれまでの
歩みを語る。

笠井 賢二演出
花柳昌三郎振付

創作『砧』 — 能の謡と能管・尺八・ パーカッションによる

謡 野村 四郎
能管 松田 弘之
尺八 設楽 瞬山
打楽器 橋 政愛

能「砧」は世阿弥晩年の最高傑作。花柳昌三郎は
これをもとに創られた河東節の「砧」を上村松園の
日本画「砧」から写した衣装で七年前に舞った。今回は
観世流の重鎮野村四郎師の謡を中心に、これまで花柳
の創作に参加してきた能管、尺八、打楽器による創作。
今回も衣装は松園の絵の写しを使用。

花柳昌三郎略歴

花柳昌太郎に入門。劇団芸芸研究生として3年間宇野
重吉の指導を受ける。以来日本舞踊の古典の確固とした
技術をもとに、他ジャンルの演劇人との積極的な交流を
通して新しい舞踊表現を切り拓いてきた。また古典と
創作のリサイトを続け、創作舞踊の振り付けや、古曲の
新たな視点での上演などで高い評価を得ている。芸術祭賞、
芸術選奨文部大臣賞、紫綬褒章、旭日小綬章など受賞。

平成25年6月12日(水)

午後6時30分開演(午後6時開場)

◎入場料 5000円(全自由席)

◎お申込み・お問合せ アトリエ花習
電話 090-9676-3798
Fax 03-5988-2810

◎主催 花柳昌三郎
〒150-0045
東京都渋谷区神泉 10-17
(ネオハイシティ渋谷1F)
電話 03-3463-2998

◎鉄仙会能楽研修所
〒107-0062
東京都港区南青山 4-21-29
電話 03-3401-2285

地下鉄表参道駅下車
(銀座線・千代田線・半蔵門線)
A4出口より徒歩3分

※駐車場はございません。

